

■ 2025・1 新しい社会貢献活動5つの運営ポイントを呼びかけました

1月の

社会貢献活動の

お知らせ

「お金をかけず・誰でも・いつでも参加できる」新しい社会貢献活動の展開に着手し 引き続きコンセプトを確認しました

1月は「楽しく長く続けられる5つの運営ポイント」を呼びかけました

投稿日 2025年1月21日

投稿者 理事・社会貢献活動担当 田代和嘉・佐々本幹夫

■ 1月は、社会貢献活動を「楽しく長く続ける5つの運営ポイント」を確認しました

放送大学神奈川同窓会の皆さん、「あけましておめでとうございます」

1月の社会貢献活動をお知らせします。

先月(12月)は、本年度(第35回)総会で承認いただいた「お金をかけず・誰でも・いつでも参

加できる」社会貢献活動の展開に着手したこと、そして、「社会貢献活動を楽しく取り組むために3つの共有したいこと」の確認を行い、皆さんに、新しい活動のコンセプト(実績概念)を呼びかけました。

今月は、先月に引き続き、コンセプトとして、「社会貢献活動を楽しく長く続ける5つの運営ポイント」の確認を行いました。



楽しく長く続ける5つの運営ポイント

社会貢献活動は、「同窓会の皆さんが活動に参加したくなるように」と、「私たちが活動したいこと」との距離を縮めるコミュニケーションが大切と考えていますので、このコミュニケーションによる「つながり」こそ、「楽しく、長く、続ける」運営ポイントととらえました。

運営のポイントは、先月に引き続き、同窓会などにふさわしいコンセプトの枠組みとして、内閣府「平成17年度科学技術振興調整費報告書」を参照しました。

1 「波濤 Web」で、つながりましょう

1 つめは、社会貢献活動の実績をつくる過程の「システム」に注目しました。社会貢献活動を、「楽しく、長く、続ける」には、「素直に言い合える関係」と「負荷コスト」の両立が大切です。

現在、最もコストや時間といった負荷が少なく、簡単に双方向ができるのは、「インターネット」を使い、『波濤 Web』の「新着記事」と「社会貢献」ページで、つながることです。

同窓会には、「弘明寺サロン」、「ミニサロン」、「春・秋の行事」、「特別講演会」、「茶道同好会」、「太極拳」などの主催イベントや、会報『波濤』があります。また、放送大学神奈川サークル協議会との共催イベントもあります。これらに参画いただきながら、気楽に言い合える Web を中心にして、同窓会員どうし、社会貢献活動で、つながりましょう。

お金をかけず、忙しい人も、身体の不自由な人も、いつでも参加できる『波濤 Web』で、つながりましょう。

なお、SNS による「つながり」は、これから一緒に考えましょう。

2 毎月、「投稿」で、つながりましょう

2つめも、「システム」に注目しました。社会貢献活動を、「楽しく、長く、続ける」には、「頻度」と「鮮度」を維持するシステムが必要不可欠です。

今、取り組んでいる活動を、毎月、投稿しましょう。

毎月、投稿いただいた「一次情報」に触れることは、「頻度」が高まることになります。

毎月、同窓会員どうしが、「讚え」、「讚えられる」ことで、(苦勞ばなしを含めて)体験という暖かさに触れることは、「鮮度」が高まることになります。

『波濤 Web』の「新着記事」と「社会貢献」ページを、毎月更新して、同窓会員どうし、社会貢献活動で、つながりましょう。

3 あなたの「活動」で、つながりましょう

3つめは、社会貢献活動の実績をつくる過程の「アクター」に注目しました。社会貢献活動は、多くのステークホルダーが関わっていますが、社会貢献活動の実績をつくる主体者は、なんとと言っても、アクター本人、つまり「あなた」です。

ごくごく、当たり前ですが、社会貢献活動を、「楽しく、長く、続ける」には、あなたの、今、取り組んでいる「活動」と、「今月もやったよ」という「習慣」が必須条件です。

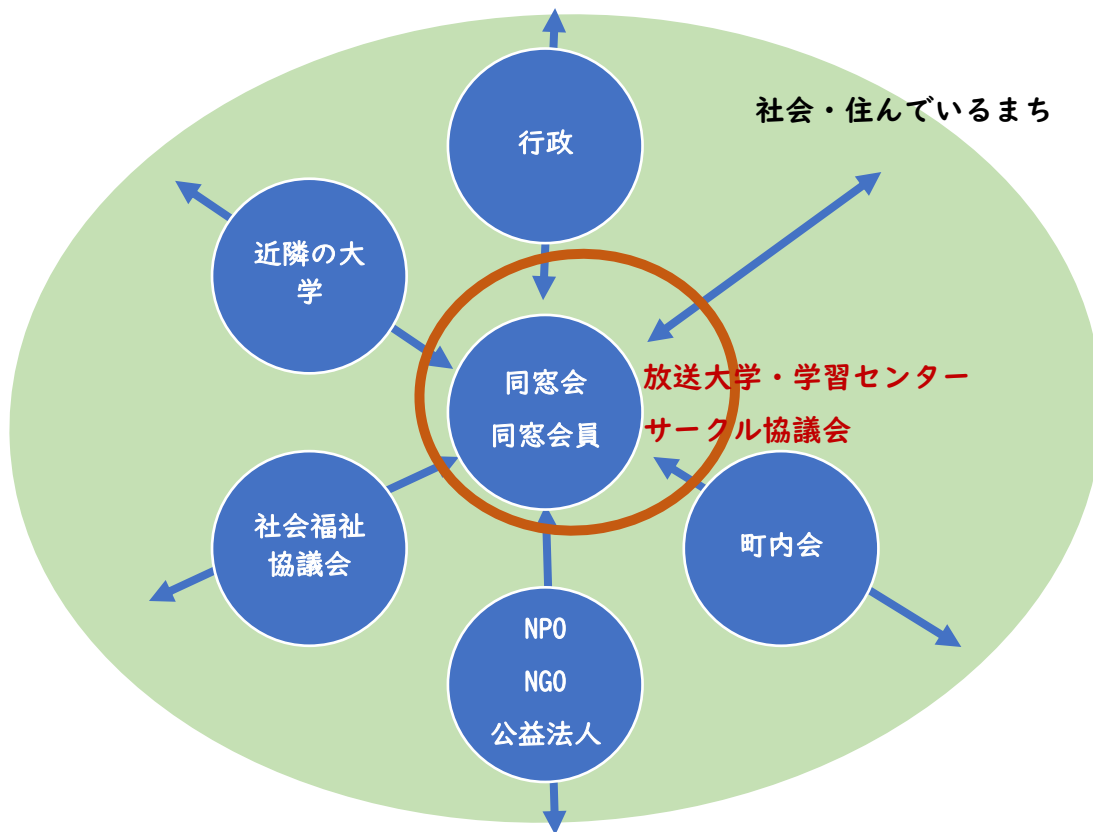
就学困難児対策として、同窓会設立以来 30 年以上の長きにわたり「プラン活動」を続けてこられたのも、「“自分たちにできるのは僅かな募金位”は、ごく平均的な日本人の心情であり、同窓会員もまた同じです」(「12 月の社会貢献活動のお知らせ」承認時における役員の意見より)の通り、アクターである「あなた」の活動のたまものです。

あなたの、今、取り組んでいる「活動」で、つながりましょう。

「活動」を読んだあなたの、「感想」で、つながりましょう。

下の図は、放送大学で学んだスキル、資格、経験を活かして、社会貢献する同窓会・同窓会員の活動イメージです。

「放送大学の地域貢献機能—学習センター・サークルのネットワーク分析を手がかりに—」(放送大学研究年報第 36 号 2018 年発行)を参照にして、作図しました。



4 あなたの見つけた「問題」で、つながりましょう」

4つめも、「アクター」に注目しました。社会貢献活動は、個人はもちろん、多くの行政、町内会、NPO、社会福祉協議会、大学、企業などが一生懸命、取り組んでいます。

でも、社会の課題は、鬱蒼（うっそう）としています。

私たちは、課題にあがっていない「困りごと」、つまり「今の社会〈問題〉」を見つけることも、とても大切な社会貢献活動だと思っています。

つい、私たちは、「出された問題」に回答することだけに慣れてしています。

回答ではなく、「なんで?」、「おかしいな?」って思う「今の、社会〈問題〉」を見つけませんか?

ただし、社会貢献活動を「楽しく、長く、続ける」うえでは、「事実・エビデンスに基づいた〈問題〉意識」と、「信頼できる仲間」、「不安を相談できる相手」が必要です。

幸い、私たちは、放送大学で学術的知見を学びながら、つながる「仲間」がいて、「相談相手」がいます。

あなたの、見つけた、「問題」で、つながりましょう。

「問題」を読んだあなたの、「意見」で、つながりましょう。

「問題」を投稿するにあたり、末尾の「投稿するときに気をつけたいこと」の項目をよく読んで、ご

理解ください。

5 「目的と結果」で、つながりましょう

5つめは、社会貢献活動の実績をつくる過程の「マネジメント」に注目しました。

社会貢献活動を、「楽しく、長く、続ける」には、先月呼びかけた「目的と結果」を共有し、運営ポイントによる「検証」が、とても大切です。

1. アウトカム(〈目的へどこまで近づいた?〉など生み出された結果)を共有し、[1]~[4]のつながり具合を検証して、願いをもってつながりましょう。
2. アウトプット(〈目標がどこまで達成できた?〉など計画された結果)を共有し、[1]~[4]のつながり具合を検証して、自信をもってつながりましょう。
3. インパクト(〈信頼がどこまで深まった?〉など影響を与えた結果)を共有し、[1]~[4]のつながり具合を検証して、感動をもってつながりましょう。

おことわり

先月(12月)から、「お金をかけず・誰でも・いつでも参加できる」社会貢献活動の展開に着手し、役員会として、来年度総会にて「新しい姿」のコンセプトを提案する予定です。

「何を」、「どのように」は、来年度以降、皆さんと一緒に考えましょう。

今月(1月)は、「楽しく長く続ける5つの運営ポイント」を呼びかけました。

しかし、理想論を呼びかけても、前進は難しいと思います。「波濤 Web」での公開や意見の募集は、焦らずに役員内で議論を尽くしてからと思います。「12月の社会貢献活動のお知らせ」承認時における役員の意見より)の忠告もいただいています。

なので、今の役員会の人材、スキル、負荷などを考えると、「波濤 Web」をスムーズに使いこなせるかどうか、『波濤 Web』の「新着記事」と「社会貢献」ページを、スムーズに更新できるかどうかは、実際に、皆さんからの「投稿」をいただかないと分かりません。

もちろん、私たち担当と役員会は、「新しい姿」に挑戦するつもりです。遅々として進まないことも、あるかも知れませんが、どうぞ、ご理解をお願いします。

■ 今月のお知らせに対する、あなたのご意見をメールでお聞かせください

「今月の社会貢献活動のお知らせ」および「同窓会の社会貢献活動」に対するご意見を、どしどしメールでお聞かせください。

私たちは、「共感」、「共有」がとても大切と思いますので、頂いたメールは、氏名などの個人情報は外して、原則として『波濤 Web』の「新着記事」と「社会貢献」ページにて公開します。

いただいた投稿は、『波濤 Web』による公開と、社会貢献活動の「活動データ」として活用し、個人情報を外した「一次情報」として統計活用させていただきます。これ以外の利用は一切ありません。

■ 投稿するとき気をつけたいこと

●職務上の秘密、社会貢献活動を通して知り得た機密情報などの情報とその意見は、投稿しないでください。

●事実・エビデンスが確認できない情報とその意見、根拠のない口コミとその意見、科学的であるように見えるにもかかわらず、事実・エビデンスがなく、実証や反証ができない「疑似科学」、「予言・占い」、「絶対的な宗教礼賛」、「都市伝説」などの情報とその意見は、投稿しないでください。

●事実・エビデンスの有無に関わらず、恣意的な推論や主張である、「陰謀論」、「宗教・政党などの勧誘」などの情報とその意見は、投稿しないでください。

●社会貢献活動に関係しない「ステルスマーケティングによる商品販売」、「〈推し〉の宣伝」、「イベントの宣伝」、「靈感商法・靈感診断などの勧誘」などの情報とその意見は、投稿しないでください。

●特定の個人・団体への人格攻撃や誹謗中傷、差別的な内容、わいせつな内容などの情報とその意見は、投稿しないでください。

●上の5項目を含め、著しく同窓会会則に反するものは公開しません。ご理解ください。

■ メールの必須事項

●件名（全角文字 20 文字以内でお願いします。公開は必要に応じて編集します）

●本文（全角文字 200 文字以内でお願いします。公開は必要に応じて編集します）

家族も含め、他人のプライベートな情報を本人の了解なく公開することは止めましょう。

●お名前（公開しませんが、同窓会員本名を必ずご記入ください）

●ニックネーム（公開します）

●プロフィール(ご自身を表す言葉をご自由に。全角文字 30 文字以内でお願いします。公開は必要に応じて編集します)

●メールアドレス(公開しませんが、編集のお問い合わせのために、必ずご記入ください)

●写真(必須ではありませんが、関連する写真があれば 4MB 程度の「JPG」あるいは「GIF」ファイルを添付いただけると嬉しいです。

人が写っている写真を投稿する際には十分注意しましょう。写真に写っている本人、あるいは他人からあらかじめ同意を得てください。公開は必要に応じて掲載します)

●受信日は、社会貢献活動担当者が投稿を受信し、内容を確認した年月日とします。公開の投稿日は、社会貢献活動担当者が『波濤 Web』に掲載依頼した年月日とします。

■ メールの送り先

理事・社会貢献活動担当 田代和嘉 drc88890@biglobe.ne.jp

//

佐々本幹夫 sasamoto.gigi.mikio.1006@sasamotoroom.jp

●上記のいずれかにお送りください。頂いたメールは担当で共有します

●波濤ネットで配信されたメーリングリストでは投稿できません。メーリングリストで返信すると、担当者宛に届かないことがあります。また、投稿者のメールアドレスが「宛先」以外の他人に知られますので、気をつけてください。

1月の社会貢献活動のお知らせは以上です。

2月の社会貢献活動のお知らせもお楽しみに!

1月度社会貢献活動会議議事録、1月役員会承認より記事を作成しています